

案 2

第 2 章 まちづくりの将来像～こんな上京区に暮らしたい～

案 1 悠久の歴史が紡ぐ ここち良く支えあうまち

案 2 普段着の生活が輝くまち 上京

案 3 誰もが笑顔で暮らせるまち 上京

案 4 住み続けたいまち 上京

私たちのまち上京区は、歴史に磨かれた文化と伝統が暮らしの中に息づく成熟したまちです。しかし、時代の流れと共に前章で示したような課題も生じています。幸い、上京区には歴史に培われた知恵があり、薄れてきたとはいえ地域での人々の絆も健在です。

この知恵と絆を活かして、多様な生き方をする人たちが、ともに喜び支えあって安心して安全に暮らし、文化と伝統を楽しみながら環境にやさしい生活を楽しむ、そんな上京区を実現したいと思います。

そのために、「 」を基本テーマとしてこれからの 10 年間、特に無理をすることなく、区民と行政の共汗による普段着のまちづくりを進めてまいります。

そんなまちづくりの一例を日記風に示してみました。

【平成 32 年〇〇さんの日記】

〇月〇日	『知恵が活きる環境に優しい上京区の生活』
	・ 私は 40 歳の会社員。妻と小学 4 年生の長女、三歳の長男の 4 人家族。長女の小学校入学を機に、一人暮らしの祖母(70 歳)の今後を考えて、祖母の自宅近くのマンションに数年前に引っ越してきた。 ・ 引越してきてから、毎朝家族一緒に朝食を摂る様になった。マイカー通勤を止めてから出勤前に時間の余裕ができたことが大きいですが、何より家族そろっての食卓は楽しい。週末には祖母も一緒に食事をすることも多い。そういえば、食卓によく登場する大根葉と昆布の漬物は、祖母から教えてもらったらしい。大根は葉のついたものを選んで買い、だしをとった後の昆布を利用した妻の最近の自慢のひとつ。料理に興味を持ち始めた長女にも引き継いでいってほしい。(ごみの発生抑制 健康づくり〈食育〉) ・ 朝食後、妻の横で、長女はペットボトルのキャップとラベルをはがす分別の手伝いをしている。区役所にある環境拠点から職員さんが学校に来て、教えてくれたそうだ。私たちの住むマンションでも、ごみは分別し透明の袋で出している。ごみ集積場所へ持っていくのは私の仕事。(分別・リサイクル)

- ・ 私は、引越しを契機にマイカー通勤から自転車と地下鉄での通勤に変更した。運動不足の解消にもなっている。(公共交通機関利用促進 健康づくり)、通勤途中の歩道には「歩行者優先」の掲示があり、狭いところではお年寄りとはぶつからないように自転車を押して歩く。最初はちょっと邪魔くさかったが、今ではあたりまえこととなった。(歩行者と自転車の共存)
- ・ 途中で、祖母の家の前を通り声を掛ける。祖母も、門はきや花の水やりをしながら通学途中の子供に声をかけている。(まちの美化・緑化、声かけ運動)。今日も元気そうでひと安心。烏丸今出川近くの駐輪場に自転車を預けて、地下鉄に向かう。(不法駐輪の一掃)

〇月〇日	『地域で支える子育て、祖母もイキイキ健康づくり』
・ 妻と長男は子育てサロンに行ったという。子供を遊ばせながら、母親は同士で子育て情報を交換。体裁の良い井戸端会議かとも思うが、これが大切らしい。(子育て支援) ・ 祖母は、老人会でグランドゴルフを楽しんでいるらしい。学区社協の昼食会やふれあいサロン、健康教室などにも参加し、住み慣れた町で友達もいるので一人暮らしで 淋しいどころか、結構忙しいという。おばあちゃんは「おばんざいの先生」なのよと長女が自慢していた。「おばんざい」を教えるボランティアとして健康教室などで活躍していると聞いていたが、長女の小学校へも「食育指導員」として「おばんざい」を教えにいらしているらしい。(健康づくり)	

〇月〇日	『魅力的な教育環境』
・ 長女は、小学校の総合学習の時間で生け花を習ったという。登校時の見守り活動をしてくれているおじさんが、お花の先生として現れたときはちょっとびっくりしたらしい。昔遊びを教えてくれたり、着付体験を手伝ってくれるのも地域のおじさん、おばさんだ。そういえば、うちの祖母も食育の授業を手伝っている。茶道や能体験では、本物の茶道や能の先生が来てくれているらしい。こんな体験が出来るのも地域で子供を育てる教育熱心な土地柄のおかげである。実は、マンション選びの中で、地元の小学校の評判が良さも重要なポイント。上京区に引っ越してきてよかったと思う。(歴史・文化教育の推進、学校運営協議会の充実)	

〇月〇日	『災害時も安全・安心なまち』
・ 今日、マンション管理組合の役員会で、地域の自主防災会から防災訓練参加の呼びかけがあった。(地域活動への参加を促す取組) ・ 防災マップをもらい避難経路や一時避難場所を教えてもらう。自力で避難できない人を地域では敬老記念品の配布のための名簿などで把握しているらしい。このマンションにはどんな人が住んでいるのか、管理組合役員も把握できていない。管理組合でも本人の承諾を得て名簿作りを始めることが話題になる。(災害時の安全な避難のための準備)	

〇月〇日	『地域活動が充実』
妻は、PTAの友人に誘われ体育振興会のバレーボールの練習に参加。学生時代はバレーボール部に所属。団体競技のため卒業後は練習ができなかった。久しぶりに気持ちの良い汗をかき、練習後のお茶も楽しかったようす。(地域活動への参加を促す取組)	

〇月〇日	『家族みんなで健康づくり』
今日は長男の3歳児健診。いつもなら嫌がる診察も、泣かずに受けたらしい。虫歯1本もなかったよと誇らしげである。妻にとっては、ママ友と会えることが楽しみのようであるが、長女のときの子育て体験を話したり、子育てサロンの情報を提供したり、先輩ママとして相談にのっているのという。親子で楽しく運動するパンフをもらったとのことで早速、長男と妻がはじめた。長女にせがまれ、私も参加。自転車通勤で体力には少々自信ありと思っていたが、普段使わない筋肉を使うためか、早々にダウン。筋トレの実施を密かに誓う。(健康づくり 子育て支援)	

〇月〇日	『旬野菜が並ぶ商店街』
- 休みの日ぐらいうっくり朝寝を楽しみたいところだが、子どもに起こされ御所へ出かける。ジョギングしている人あり、散歩している人あり、ラジオ体操している人あり、長寝したかった自分を少し反省。ウォーキング前にも、準備運動が大切と妻に言われ、子どもとストレッチ。妻はウォーキンググループにも参加し、子どもとできるストレッチを仲間で考えたらしい。帰りに「旬野菜」の販売所に立ち寄る。(健康づくり) - 野菜好きの子どもに育てるには、旬のおいしい野菜を食べさせることが大切だそう。祖母の家にも届けに行く。近所のお店は商店街の共同事業で配達をしてくれるので、重い買物でも不自由はないといっているが、旬野菜は楽しみにしているらしい。早速、旬野菜料理で一緒に昼ごはん。子どもの好き嫌いを直すだけでなく、祖母の栄養バランスにも役立つねと妻に感謝すると、あなたの生活習慣病対策にも役立つのよと言われた。(健康づくり、暮らしを支える地域商業)	

〇月〇日	『歩いて発見！上京区の魅力』
- 友人夫妻が東京から遊びに来る。上京歴史探訪館のHPから散策マップをダウンロードして、平安宮周辺を歩いたそう。目に見えるものではなくてもマップのイラストや説明版で源氏物語の世界を想像してみたり、当時を偲ばせる地名に友人は感激したという。(地域財産と魅力の紹介) - 新しくなった堀川団地1階の和風カフェで待ち合わせをする。向かいでやっている「京の七夕事業」にあわせて、商店街も縁日風の演出でにぎわっている。隣の生活雑貨店で浴衣レンタルをやっているらしく彼女も浴衣姿。ほろ酔い気分で堀川沿いに散策すると「これでチンチン電車が走っていれば・・・」などと夢が広がる。(賑わいを創出する地域商業。地域財産を生かしたイベントの創生)	

〇月〇日	『活発なコミュニティ活動』
- 今日は地藏盆。家族で祖母の家に遊びに行く。公園では、近くの〇〇中学のブラスバンド部がアニメのテーマソングを演奏していた。〇〇大学のボランティアサークルがゲームや福引の手伝いをしている。(多様な年齢層，団体の地域活動への参加の促進) - 子供よりも大人のほうが多いが，コンピュータゲームにはない楽しみに子供は大喜び。終わってからの大人の地藏盆(懇親会)に感激。昔話に花が咲く。来年はマンションの管理組合も町内の地藏盆に参加できないか，相談してみようと思う。(身近で気軽に参加できる場づくり)	